

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.26, 2003.3 : 6-12
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4127
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

[著 訳 者 紹 介]

(掲載順)

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学(ニューヨーク)ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。現在、聖学院大学大学院教授。学校法人聖学院院長・理事長。聖学院大学総合研究所長。〔著書〕『ブルンナー 人と思想』(日本基督教団出版部、1962年)、『ピューリタニズムの倫理思想』(新教出版社、1966年)、『ピューリタン——近代化の精神構造』(中央公論社、1968年)、『終末論的考察』(中央公論社、1970年)、『終末論』(紀伊國屋書店、1972年)、『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』(白水社、1976年)、『キリスト入門』(ヨルダン社、1976年)、『歴史神学と社会倫理』(ヨルダン社、1979年)、『偶然性と宗教』(ヨルダン社、1981年)、『バルト』(講談社、1984年)、『日本の神学』(共著、ヨルダン社、1989年)、『主の祈り』(聖学院大学出版会、1990年)、『新しい共同体の倫理学 基礎編』(上・下、教文館、1994年)、『日本は変わるか——戦後日本の終末論的考察』(共著、教文館、1996年)、『ローマ人への手紙——現代へのメッセージ』(教文館、1998年)、『宇魂和才の説——21世紀の教育理念』(聖学院大学出版会、1999年)、『時の徴——第三ミレニアムとグローバリゼーション』(教文館、2000年)、『組織神学序説——プロレゴメナとしての聖書論』(教文館、2003年)、その他。

田中 浩 たなか・ひろし

1926年生まれ。東京文理科大学哲学科卒。東京教育大学、一橋大学教授、立命館大学客員教授を経て、現在、一橋大学名誉教授。法学博士。

〔著書〕『ホップズ研究序説——近代国家論の生誕』(御茶の水書房・1982年)、『長谷川如是閑研究序説——社会派ジャーナリストの誕生』(未来社・1989年)、『国家と個人——「市民革命から現代まで」』(岩波書店・1990年)、『カール・シュミット——魔性の政治学』(未来社・1992年)、『近代日本と自由主義——論吉・卯吉・羯南・如是閑』(岩波書店・1993年)、『近代政治思想史——思想と歴史のダイナミズム』(講談社学術文庫・1995年)、『戦後日本政治史』(講談社学術文庫・1996年)、『ホップズ』(研究社・1998年)、『日本リベラリズムの系譜——福沢論吉・長谷川如是閑・丸山真男』(朝日新聞社・2000年)、『20世紀という時代』(日本放送出版協会・2000年)、『20世紀日本を創った思想家たち——勝海舟から丸山真男まで』(日本放送出版協会・2002年)。

〔訳書〕T・ホップズ『リヴァイアサン』(河出書房新社・水田洋と共訳・1966~9年)、C・シュミット『政治的なものの概念』(未来社・原田武雄と共訳・1970年)、E・ウィリアムズ『帝

国主義と知識人』(岩波書店・1979年), J・ミルトン『教会統治の理由』(未来社・新井明と共訳・1985年), R・タック『トマス・ホップズ』(未来社・重森臣広と共訳・1995年), C・ピアソン『曲がり角にきた福祉国家』(未来社・神谷直樹と共訳編・1996年), T・ホップス『哲学者と法学徒との対話』(岩波文庫, 岩波書店・新井明, 重森臣広と共訳・2002年)。

深井 智朗 ふかい・ともあき

1964年生まれ。アウクスブルク大学第一哲学部博士課程修了。哲学博士(アウクスブルク大学)。現在, 聖学院大学総合研究所助教授。

[著書] *Paradox und Prolepsis*, Marburg, 1996, 1999 (2.Aufl.), 『アポロゲティークと終末論』(北樹出版), 『政治神学再考』(聖学院大学出版会), 『文化は宗教を必要とするか』(教文館), 『ハルナックとその時代』(キリスト新聞社) など。

田中 豊治 たなか・とよじ

1926年生まれ。東京大学経済学部卒。同大学院社会科学研究所(経済史学専攻課程)博士課程修了。経済学博士(東京大学)。法政大学教授, 千葉大学教授, 大東文化大学教授を歴任。現在, 聖学院大学総合研究所客員教授。千葉大学名誉教授, 大東文化大学名誉教授。

[著書] 『イギリス絶対王政期の産業構造』, 『ウェーバー都市論の射程』, 『近代世界の変容』(共編著) など。

[訳書] S・N・アイゼンシュタット『文明社会の比較社会学』(共訳)。

松谷 好明 まつたに・よしあき

1944年福島県生まれ。一橋大学社会学部卒。1970年神戸改革派神学校に学んだ後(3年中退), 英国トリニティ・カレッジ・ブリストル神学校ならびにブリストル大学大学院(Dip.Th.)に学ぶ。現在, 日本キリスト教会牧師(無任所)。聖学院大学総合研究所特任助教授(ピューリタニズム研究室長)。

[著書] 『ウェストミンスター神学者会議の成立』, 『ウェストミンスター神学者会議議事録抄』, 『ウェストミンスター神学者会議——その構造化』(いずれも, 一麦出版社)。

[訳書] トマス・ブラウン『スコットランドにおける教会と国家』, 『ウェストミンスター信仰告白と今日の教会』(いずれも, すぐ書房), 『ウェストミンスター信仰規準』(一麦出版社), ポール・ヘルム『カルヴァンとカルヴァン主義者たち』(聖学院大学出版会)。

須網 隆夫 すあみ・たかお

1954年東京都生まれ。1979年東京大学法学部卒。1981年弁護士登録（第33期司法修習終了）。1988年コーネル大学ロースクール卒（LL.M.）。1993年カトリックルーヴァン大学大学院卒（LL.M.）。1994年横浜国立大学大学院国際経済法学研究科助教授。1996年より早稲田大学法学部教授。

〔著書〕『ヨーロッパ経済法』（新世社・1997年），『グローバル社会の法律家論』（現代人文社・2002年），（共著）『転換期のWTO』（東洋経済・2003年）など。

郡司 篤晃 ぐんじ・あつあき

1937年茨城県水戸市生まれ。東京大学医学部卒，同大学院卒。医学博士。東京女子医科大学日本心臓血圧研究所研究部を経て1975年に厚生省入省，その後医務局総務課，環境庁，鹿児島県衛生部長，厚生省生物製剤課長，健康増進栄養課長を歴任。1985年より東京大学医学部保健管理学教授。現在，聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。

〔著書〕『医療システム研究ノート』（丸善プラネット），『保健医療計画ハンドブック』（編著・第一法規），『身体活動・不活動の健康影響』（編著・第一出版）など。

土岐 寛 とき・ひろし

1944年山形県生まれ。1968年京都大学法学部卒。（財）東京市政調査会主任研究員などを経て，現在，大東文化大学法学部教授。国際比較政治研究所所長。専攻は地方自治，都市政策。

〔著書〕『東京問題の政治学』（日本評論社，1995年），『比較行政制度論』（共編著・法律文化社，2000年），『地方自治とまちづくり』（敬文堂，2002年）など。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部 Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（哲学博士）。現在，聖学院大学総合研究所助教授。

〔論文〕“Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. ほか。

高 萬松 こう・まんそん

1953年生まれ。慶北大学校卒。東京神学大学大学院神学研究科博士前期課程修了。現在、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程。

〔訳書〕フォーサイス『バルンキドワ ク ヨルメ』（大韓基督教出版社，ソウル・1999年）（*The Soul of Prayer*の韓国語翻訳）。

〔論文〕「P・T・フォーサイスにおけるインディペンデンシーの影響」（『聖学院大学総合研究所紀要』22号，2002年），「P・T・フォーサイスにおける神義論」（『聖学院大学総合研究所紀要』25号，2003年）。

久保島理恵 くぼしま・りえ

1969年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。東京神学大学大学院修了後，四国，南国教会牧師を勤めた。現在，聖学院大学非常勤講師。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程在籍。

鈴木 順一 すずき・じゅんいち

1928年生まれ。1953年早稲田大学第一法学部卒。1953年財団法人運輸調査局勤務，早稲田大学社会科学部，城西国際大学非常勤講師，東京交通短期大学教授を経て，2000年4月より聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。

〔著書〕『公共交通政策の転換』（編著・日本評論社），『バッハのマタイ受難曲を聞くときに』（自家版）。

原田 貴士 はらだ・たかし

1974年生まれ。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科修士課程修了。現在，聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程在籍。

マックス・スタックハウス Max L. Stackhouse

ハーバード大学大学院修了 (Ph.D.)。博士論文は“Eschatology and Ethical Method in W. Rauschenbusch and R. Niebuhr” 現在、プリンストン神学大学院教授。専門はキリスト教社会倫理。

〔著書〕 Ethics and the Urban Ethos: An Essay in Social Theory and Theological Reconstruction (Beacon Press, 1973), Creeds, Society and Human Rights: A Study in Three Societies (Eerdmans, 1984; Reprinted: Parthenon Press, 1996) [Religious Book Club Selection, 1985], Apogia: Contextualization, Globalization and Mission in Theological Education (Eerdmans, 1988), Public Theology and Political Economy: Christian Stewardship in Modern Society (Eerdmans, 1987; Reprinted, University Press of America, 1991), Christian Social Ethics and The Globalization of Economic Life (with Peter Berger, et al., Nashville: Abingdon, 1995) [Christian Ethics and Economic Life, Vol. 1], Covenant and Commitments: Faith, Family and Economic Life (Westminster/John Knox, 1997) など多数。

スティーヴン・カールバーク Stephen Kalberg

ニューヨーク州立大学ストニーブルック校でPh.D. (社会学) 取得。現在、ボストン大学社会学部助教授。

〔著書〕 Max Weber's Comparative-Historical Sociology (Polity Press and The University of Chicago Press, 1994) [邦訳・甲南大学ヴェーバー研究会訳『マックス・ヴェーバーの比較歴史社会学』ミネルヴァ書房], (new translation and introduction) Max Weber, The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism, Los Angeles 2002, “Max Weber on world Views: Their Past and Present Influence.” in Takeji Ibaraki, ed., HISTORISCHE SOZIOLOGIE UND MAX WEBER. (村上守行訳「マックス・ヴェーバーにおける世界観の射程——その過去と現在」(茨木竹二ほか編『歴史社会学とマックス・ヴェーバー (下) ——マックス・ヴェーバーにおける歴史と社会』(理想社, 2003年, pp. 161-190) ほか多数。

古矢 旬 ふるや・じゅん

1947年生まれ。東京大学法学部卒。プリンストン大学歴史学部大学院 (Ph.D.)。現在、北海道大学大学院法学研究科教授。

〔論文〕 “American Exceptionalism: A View from Japan,” Nanzan Review of American Studies (南山大学アメリカ研究雑誌 vol.29, no.1, Summer 1997), “Graduate Student and Quaker,” Nitobe Inazo, John Howes, ed. (Boulder: Westview, 1997), 「アメリカニズム: その歴史的起源と展開」(『20世紀システム 1 構想と形成』, 東京大学出版会, 1998年), 「日本の市民とアメリカの市

民」(今井弘道編『「市民」の時代』,北海道大学図書刊行会,1998年),「市民とは何か」(今井弘道と共同執筆・同前書),「マルティカルチュラリズムと国民統合——一つの歴史的展望」(長谷川晃編『市民的秩序のゆくえ』,北海道大学法学部ライブラリー第4巻,北海道大学図書刊行会,1999年),“Predecessors: A Personal View,” in Rob Kroes, ed. Predecessors: Intellectual Lineages in American Studies (Amsterdam: VU University Press, 1999), 331-339. 『『反共主義体制』の展開と解体』(久保文明他編『現代アメリカ政治の変容』,勁草書房,1999年),『『移民国家』における『移民問題』——現状と展望』(五十嵐武士編『アメリカの多民族体制——「民族」の創出』,東京大学出版会,2000年),『『アメリカの世紀』の終わり?』(山内昌之編『岩波講座世界歴史 27 ポスト冷戦から21世紀へ』,岩波書店,2000年),『アメリカニズム——「普遍国家」のナショナリズム』(東京大学出版会,2002年)など。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。テンプル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。

〔論文〕A Literature Review of Motivation and Second Language Acquisition, Unraveling the Mystery of Motivation in EFL Education, An Introduction to Some Important Writings Relevant to EFL and ESL Education, The Role Of Discourse Analysis In EFL Education, Economic Influences in Relation to the Language of the Amish, A Commentary On Contemporary American Society and the Amish, The Amish Commitment To Pacifism. The Japanese Identity Crisis: Friend Or Foe Of English Language Teachers? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.21, 2001), Is Learning English Truly Advantageous For the Japanese? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.22, 2001)

椿 まゆみ つばき・まゆみ

千葉大学教育学部卒。ウェーバーステイト大学心理学科及び社会学科(Double Major)卒。ユタ大学The University of Utah大学院言語研究科英語教授法TESOL専攻修了。MA取得。現在、聖学院大学共通英語プログラム委託講師。

平 修久 たいら・のぶひさ

1955年生まれ。コーネル大学博士課程修了。Ph. D.(都市及び地域計画学)。富士総合研究所を経て、現在、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。聖学院大学大学院政治政策学研究科教授。

〔著書〕『世界都市の成長と基盤整備 ニューヨーク・ロンドン・パリ』(共著),『東京はこう

変わる』(共著),『成熟都市東京のゆくえ』(共著)。

〔論文〕「首都機能移転の経済的費用便益分析」(『応用地域学研究』第3号),「アメリカのリンケージ施策の分類に関する一考察」(『都市住宅学』第23号)ほか。

荒井 照男 あらい・てるお

1956年埼玉県生まれ。1979年中央大学商学部卒。1979年北本市役所入庁。1999年企画財政課企画調整担当主幹。2002年より情報管理課事務管理担当主幹。

桑野 斉 くわの・ひとし

1962年岡山県生まれ。1985年駒澤大学大学院法学研究科修士課程修了。1987年地方行政システム研究所研究員。1991年エイジング総合研究センター調査研究主任,1996年地方自治研究機構研究員。現在,同主任研究員。

〔著書〕『東京問題』(共著,東京自治センター・1994年)など。